

## 水稲新品種「チクブワセ」について

岩下友記・宝満正治・<sup>1)</sup>東 正昭・<sup>2)</sup>新屋 明・<sup>3)</sup>山川恵久・<sup>3)</sup>町田道正・<sup>5)</sup>土井 修  
<sup>2)</sup>森谷國男・<sup>3)</sup>上原裕美・<sup>2)</sup>長谷 健・<sup>6)</sup>小村康治・<sup>6)</sup>神田正治・<sup>6)</sup>伊藤周三  
 (元鹿児島県農業試験場・<sup>1)</sup>東北農業試験場・<sup>2)</sup>鹿児島県農業試験場・<sup>3)</sup>鹿児島県農政部・  
<sup>4)</sup>鹿児島県農業試験場熊毛支場・<sup>5)</sup>鹿児島県農業試験場大隅支場・<sup>6)</sup>島根県農業試験場)

Tomoki IWASHITA, Masaharu HOUMAN, Tadaaki HIGASHI, Akira SHINYA, Yoshihisa YAMAKAWA,  
 Michimasa MACHIDA, Osamu DOI, Kunio MORIYA, Hiromi UEHARA, Takeshi NAGATANI,  
 Kouji KOMURA, Masaharu KANDA and Shuzou ITO: A New Rice Cultivar "Chikubuwase"

水稲新品種「チクブワセ」は、1987年に滋賀県で奨励品種に採用され、普及に移された。ここに本品種の来歴、育成経過並びに特性概要を報告し、普及上の参考に供したい。なお本品種の育成に当たっては、国、県の各関係農業試験研究機関の担当係官に多くの御協力をいただいた。ここに厚く御礼申し上げる。

## 1. 来歴及び育成経過

本品種は、いもち病抵抗性、白葉枯病抵抗性で、良質多収早生品種の育成を目標に、1969年島根県農業試験場において、「日本晴」を母「トドロキワセ」を父として人工交配した組合せに由来する。1971年、同農業試験場の水稲育種指定試験地廃止時に、鹿児島県農業試験場がF<sub>2</sub>種子の分譲を受け、以後、世代促進、個体選抜、系統選抜を経て、1980年F<sub>4</sub>より「西南68号」の系統名で関係各県に配布して地方適応性を検討した結果、滋賀県で成績良好と認められ、1987年6月に「水稲農林289号」として登録され、「チクブワセ」と命名された。1987年現在F<sub>21</sub>である。

## 2. 特性の概要

1) 形態的特性 苗はやや長く葉色は中位で、初期生育は旺盛である。成熟期には止葉は直立し草姿、熟色は良好である。やや長稈短穂で、穂数は多く穂数型に属する。粒着密度はやや疎で、芒はなく、稈先色は黄白、脱粒性は難である。玄米の粒形は中、粒の大きさは小粒で、腹白、乳白が少なく、みかけの品質は良い。食味は「びわひかり」と同程度かやや勝る。

2) 生態的特性 育成地では、出穂期、成熟期ともに「コシヒカリ」と同程度の早生の早、滋賀県農業試験場湖西分場では「びわひかり」と同程度の極早生に属する梗種である。耐倒伏性は「コシヒカリ」より明らかに強く、耐病性のうち、いもち病については、真性抵抗性遺伝子Pi-tを持つと推定され、圃場抵抗性は、葉いもちでやや強、穂いもちでは「トドロキワセ」より強く強である。白葉枯病抵抗性は金南風群に属し、圃場抵抗性は中程度、縞葉枯病には罹病性で、わい化病には強いとみられる。耐冷性は「レイメイ」並みのやや強、穂発芽性は「コシヒカリ」並みの難である。収量性は、登熟歩合が高く、「びわひかり」に勝る。

## 3. 適地及び奨励品種採用県

暖地、温暖地の早期栽培地帯に適すると考えられ、奨励品種採用県の滋賀県では、湖西地域を中心とした県下

平田部の早期栽培地帯で「びわひかり」、「越路早生」に替わって普及するものと思われる。

## 4. 栽培上の注意

倒伏抵抗性は比較的強いが、やや長稈のため極端な多肥栽培では倒伏の危険があるので注意する。成熟期になっても葉緑が退色し難いので刈取適期を逸しないように注意する。縞葉枯病には罹病性なので適期防除に留意する。

## 5. 命名の由来

琵琶湖北部の湖上に浮かぶ竹生島が見える滋賀県湖西、湖北一帯に普及することを願った。

第1表 チクブワセの特性表

品種名		チクブワセ	びわひかり
形質			
熟期	極早生	極早生	極早生
草型	穂数型	穂数型	穂数型
出穂期(月日)	7.30	7.29	7.29
成熟期(月日)	9.2	9.2	9.2
稈長(cm)	84	74	74
穂長(cm)	18.7	19.1	19.1
穂数(本/m <sup>2</sup> )	500	503	503
芒の多少、長短	無	中、中短	中、中短
稈先色	黄白	黄白	黄白
脱粒性	難	難	難
耐倒伏性	中	強	強
穂発芽性	難	やや難	やや難
耐冷性	やや強	弱	弱
耐病性	葉いもち病	強	強
	白葉枯病	中	
	イネわい化病	強	
	縞葉枯病	罹病性	罹病性
玄米重(kg/a)	60.8	55.7	55.7
玄米千粒重(g)	21.0	23.3	23.3
玄米品質	3.0	4.9	4.9
食味	中上	中中	中中

注) 滋賀県農業試験場湖西分場(1981-1986)の試験成績による。